

かんもくグループ

(北海道)

「話せないこと」に苦しみ、不安や恐怖と必死に闘っている人がいる

ぼめん かんもく

場面緘黙とは

年齢相応に話す能力はあるにもかかわらず、特定の社会的な場面（学校、職場など）で話すことができない状態のことです。典型的には、「家では話すけれども、学校では話すことができない」という状態が多いです。自分の意思で話さないことを決めているのではなく、**脳の不安や恐怖を感じる部分が異常に興奮し、コントロール不能となり、その影響で「声を出しにくい」状態になると考えられています。**



心理職運営のボランティアグループ

かんもくグループ（北海道）は、心理職運営による緘黙支援のボランティアグループとして、2015年7月に設立されました。場面緘黙児・者（当事者）、経験者、家族、支援者の方々のための交流の場です。北海道における緘黙支援のネットワーク構築、理解と支援の輪を広げることを目的に活動しています。

活動内容

当事者／経験者グループ

仲間とつながる場です。自分の状態を客観的に理解するための学習会（偶数月に開催）が主となります。グループチャットをしたり、不定期でお食事会も開催しています。

家族グループ

当事者以外の家族を対象とした集まりです。悩み事の相談や情報交換を目的とした交流会、当事者の状態を客観的に理解するための学習会（奇数月に開催）が主となります。

緘黙支援ミーティング

支援者を対象とした緘黙支援にかかわる情報交換の場です。不定期で研修会を開催しています。適切な支援を学び、場面緘黙を抱えている人に還元することを目的としています。

参加をご希望の方は、ホームページで会員登録をお願いいたします。会費は必要ありません。当グループは専門機関ではありませんので、個別の支援は行っていません。ご了承ください。

